

No.2418 大峰 稲村岳

平成26年6月14日(土) くもり時々晴れ

参加者：榊谷(L) 片山琴美 上ノ原 右田(記)

天王寺のアポロビル前に7時集合。榊谷さんの車で洞川へ向かう。洞川は榊谷さんの生まれ故郷とのこと。309号を走り、水越トンネルを抜けると吉野はもう近い。段々と山深くなり新緑も美しい。道路沿いには半化粧の葉を多く見かける。9時30分に登山口の母公堂に着く。駐車場は満車状態だが何とか止めさせてもらう。身支度して9時40分に登山開始。

二人静の咲く杉木立の中の登山道を登って行く。10時35分に法力峠に到着。ここは観音峰への分岐となっている。観音峰はちょうど今頃ベニバナヤマシャクヤクが咲く頃でにぎわっているだろう。今回は左の稲村岳へ向かう。法力峠からしばらく歩くと、杉の植林からブナの林へと変わり、いっぺんに景色が良くなる。吹き抜ける風が心地よい。それにしても、他の登山者よりも早いペースで登っていく琴美さんと上ノ原さんのお二人には感心する。自分もお二人の年齢ぐらいまで山登りが続けられたらいいなあ。途中、橋が崩落している箇所があるが、問題なく通過する。しばらくして急に開けたと思うところが稲村小屋だった。12時近いので、ここで昼食を取ることにする。谷からの吹き上げの風があり、半そででは寒い。食後のコーヒーを馳走になり、出発。キレットのあたりからイワカガミやシャクナゲのピンクの花が出迎えてくれる。先に大日岳へ登る。急だが花を楽しみながらの登りで楽しい。12時50分大日岳頂上。狭い頂上は人でいっぱいなので、早々に退散。分岐まで下り、稲村岳へ向かう。13時15分頂上。大普賢岳や八経ヶ岳などを展望する。ここも団体が来て混んできたので下山することに。来た道に戻り、14時頃、稲村小屋を通過。14時45分法力峠で休憩。相変わらずお二人は快調で先行する登山者をほとんど追い抜き、15時30分に母公堂に到着。思いがけずコーヒーとカステラの接待を受け、感謝。洞川温泉で汗を流し、帰路に。ほとんど渋滞もなく、天王寺に19時過ぎに到着。榊谷さん往復の運転お疲れ様でした。感謝。また、大峰を一緒に登りましょう。



稲村小屋



頂上付近に咲くシャクナゲ



気持ちのいいブナの尾根道